


教員プロフィール

	<p>食物栄養科 講師</p> <p>青 木 慎 悟 (あおき しんご)</p> <p>Aoki Shingo</p>
所属	食物栄養科
学位	修士 (食品栄養科学) (静岡県立大学)
資格・免許	管理栄養士
学歴・職歴	<p><学歴></p> <p>2009年 3月 静岡県立大学食品栄養科学部栄養学科卒業 (学士 (食品栄養科学))</p> <p>2011年 3月 静岡県立大学大学院生活健康科学研究科食品栄養科学専攻 修士課程修了 (修士 (食品栄養科学))</p> <p><職歴></p> <p>2011年 3月 国立病院機構東海北陸ブロック三重中央医療センター管理 栄養士 (2012年3月まで)</p> <p>2012年 4月 山梨学院短期大学食物栄養科助教 (2013年3月まで)</p> <p>2013年 4月 山梨学院短期大学食物栄養科専任講師 (現在に至る)</p>
担当科目	臨床栄養学総論 臨床栄養学各論 臨床栄養学実習 公衆衛生学各論 栄養生理学実験
専門分野	臨床栄養学
現在の研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・一型糖尿病患者、慢性腎臓病患者に対する包括的な食支援 ・栄養士養成教育における、科学的な思考を養うための指導手法
競争的資金等の 研究課題	特記事項なし
所属学会	日本栄養改善学会 日本病態栄養学会 日本スポーツ栄養学会 日本食育学会 日本小児保健協会
メッセージ	エビングハウスの忘却曲線によると、人は一度覚えたことも、全く復習しないと1週間で7割以上も忘れてしまうそうです。学びを授業中だけに留めずに、短期大学の2年間、学んだことの復習と実践を繰り返しながら、どんどん力を付けていってください。継続は力なりです。継続こそ、あなたの力になります。
教育	
2020年4月～2021年3月	
教育方針	日々の学修と研究活動の支援を通じて、「学びの楽しさと奥深さ」を伝えることで、卒業後も、知識のブラッシュアップと実践を繰り返しながら、問題解決に取り組むことのできる「社会人基礎力」を備えた人材を養成する。

教育 (つづき)		
2020年4月～2021年3月 (つづき)		
授業	授業の工夫	<p><臨床栄養学総論> 「栄養ケア・マネジメント」を実践的な取組の中で学修するための、アクティブ・ラーニング (AL) を行っている。具体的には、BDHQ (食習慣をアセスメントする食事調査法の一つ) を学生自身以外の指導対象者に回答してもらい、その結果をふまえ、栄養ケアの流れを立案、プレゼンテーションの形で相互発表させる授業を実施している。</p> <p><臨床栄養学各論> 人間栄養学に対する科学的な視点を強化させるため、世界中で実施されている栄養学研究成果が掲載されているデータベース『健康食品』の安全性・有効性情報』を用いた AL を行っている。具体的には、データベースを用いて興味のある成分の科学的な機能性 (ヒトを対象にどのような研究が行われているか) を調べさせ、プレゼンテーションの形で相互発表させる授業を実施している。</p> <p><栄養生理学実験> 一部実験において、実験計画を全て教員側が提示するのではなく、学生には実験材料を提示するにとどめ、班ごとに実験計画を考えさせ、その計画を元に実験を実施し、結果を発表させる回を設けている。さらに、研究的な視点も含めて、羽畑祐吾食物栄養科長と共に、ループリックを用いたレポート教授法の検討を行っている。</p>
	授業改善のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善アンケートによる教授内容の見直しを継続的に行っている。 ・各種研修会に参加し、専門の栄養学的な部分だけでなく、オンラインにおける効果的な教育手法の学修にも努めた。 ・2020年度に作成した各種実習動画教材について、学外の管理栄養士に視聴していただき、意見を伺う場を設けた。
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度は、臨床栄養学を軸に、学生の興味に応じてスポーツ栄養に関する実践研究活動を指導した。一部研究は、学外団体と共同して実施した。 ・得られたデータを分析する中で、学生らが基礎的な統計手法 (t 検定、カイ二乗検定、相関分析など) を習得できるように努めた。 ・第5回 山梨県栄養学術研究会における、学生らの腎臓病教室参加者に関する示説発表に向けた支援を行った。
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・1型および2型糖尿病と食に関する研究 ～糖尿病の方に紹介したいレシピの作成とサマーキャンプ参加者のデータ分析～ (共同) ・腎臓病と食に関する研究 ～低たんぱく食のレシピ作成と腎臓病教室参加者のデータ分析～ (共同) ・大学生スポーツ実施者の食の現状と課題 ～質問票調査の実施とレシピの提案～ (共同) ・若年女性の食の現状と課題 ～短大1年生の4年分の食事データ分析～ (単独)

教育 (つづき)		
2020年4月～2021年3月 (つづき)		
課外活動	・フォークソング拓郎 顧問	
2020年3月以前		
主な教育業績	・「学生チャレンジ制度」に関する学生指導 テーマ：山梨学院発！スポーツ栄養学の実践研究（2017年度） テーマ：高校生スポーツ選手を対象とした栄養サポートの実践（2013年度）	
研究		
2020年4月～2021年3月		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(資料) 山梨県栄養士会ウェブサイトのアクセス状況とサイト改善の取組 (単著)	2021年3月	山梨学院短期大学研究紀要 第41号
(発表学会) 事前の食事調査結果をふまえた集団栄養指導の取組 (単著)	2021年2月	第5回 山梨県栄養学術研究会
(発表学会) 腎臓病料理講習会に継続的に参加されている患者の特徴 (共著)	2021年2月	第5回 山梨県栄養学術研究会
2020年3月以前 (主なもの)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(短報) サマーキャンプ中の1型糖尿病患児の正確な血糖予測に関連する因子の検討 (単著)	2020年3月	山梨学院短期大学研究紀要 第40号
(短報) 小児1型糖尿病サマーキャンプにおける身体活動量調査 (単著)	2018年3月	山梨学院短期大学研究紀要 第38号
(一般論文) 「食品衛生学実験」の衛生管理項目に対する学生の意識調査と教育効果 (共著)	2018年3月	山梨学院短期大学研究紀要 第38号

社会貢献
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等
2020年4月～2021年3月
<ul style="list-style-type: none"> ・やまびこの会（山梨県における小児1型糖尿病サマーキャンプ運営スタッフの会）栄養スタッフ責任者（2018年～現在に至る） ・公益社団法人山梨県栄養士会 ウェブサイト運営管理者（2018年～現在に至る） ・NPO法人 でんぷんルルパ ウェブサイト運営管理者（2019年～現在に至る） ・山梨県スポーツ協会 スポーツ医科学委員会委員（2018年～現在に至る） ・公益社団法人山梨県栄養士会 研究教育事業部研修会 講師（事例紹介）（2021年3月） ・山梨県立笛吹高等学校 連携事業 講師（2021年3月） ・山梨県立甲府昭和高等学校 出前講座 講師（2020年10月） ・山梨学院高校 高大連携事業 講師（2020年10月、12月、2021年2月）
2020年3月以前（主なもの）
<ul style="list-style-type: none"> ・やまびこの会（山梨県における小児1型糖尿病サマーキャンプ運営スタッフの会）栄養スタッフ学生引率（2012～2018年） ・公益社団法人 山梨県栄養士会 中北支部支部長兼山梨県栄養士会理事（2016～2018年） ・公益社団法人 山梨県栄養士会 ウェブサイトリニューアル担当（2017～2018年）
受賞 ※個人、所属団体
特記事項なし